

11/21日付

9都道府県病床使用25%超

コロナ拡大 医療現場の負担増

厚生労働省は二十日、新型コロナウイルス患者の八日時点の病床使用率を公表した。九都道府県で、政府の新型コロナ感染症対策分

全 体	重症者用			
	11月18日 時点	11日 時点	18日 時点	
兵庫	44%	34	東京	37
大阪	41%	33	大阪	28
北海道	38%	24	沖縄	26
埼玉	37%	29	京都	22
沖縄	35%	36	愛知	21

【上位5都道府県】
新型コロナウイルス
関連の病床使用率
11月18日 時点
兵庫 44%
大阪 41%
北海道 38%
埼玉 37%
沖縄 35%

科会がステージ3（感染急増）の指標の一つとする25%以上になり、一週間前の十一日時点の五都府県から

連続で国内の感染者数が二千人を超えて過去最多を更新しており、全国の医療現場への負担が増している。

三十七都道府県で一週間前より使用率が上昇し、10%以上伸びたのは、北海道、新潟、兵庫、愛知の四道県。北海道と兵庫は二週連続で10%以上伸びており、病床逼迫が懸念され

る。北海道は宿泊療養施設の使用率も47%と高い水準だった。

厚労省が都道府県の確保病床数や入院者数を集計。病床使用率は高い順に兵庫

(44%)、大阪(41%)、北海道(38%)、埼玉(37%)、沖縄(35%)、愛知(33%)、東京(33%)、奈良(28%)、岡山(26%)。

重症者の使用率を見る
と、東京(37%)、大阪(28%)、沖縄(26%)だ
った。全国の入院者数は十八日までの一週間で千四百三十四人増の五千九百五十

人増の四百八十三人となっ
た。
厚労省発表の使用率は、別
の治療で使っているベッ
ドも含まれ、全て空いてい
るベッドとして確保されて
いるわけではない。必要に
応じてコロナ患者に振り分
ける運用が想定されてい
る。